北海道遺産だより

NPO 法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.22
2019 年 3 月 18 日発行

報告 1 ― 北海道遺産第３回選定を決定・公表しました！

昨年度より募集を開始し、今年度、北海道命名 150 年事業のひとつとして実施していました、北海道遺産第３回選定の選定結果発表と選定証授与式を 11 月１日（木）に執り行いました。

今回の選定では、「シェアリングヘリテージ」をキーワードに、地域遺産と地域とのつながりの深さ、担い手の思い入れをその地域遺産の保全活用の取組に活かし、次世代へ継承していくことを期待して、15 件の新たな北海道遺産を選定いたしました。

当日は新しい選定地域の方々にご列席いただき石森会長から選定証の授与をさせていただきました。また、高橋北海道知事にもご出席いただき、祝辞と授与式へのお立合をいいただきました。最後には新しい選定地域 15 件の方々と高橋知事との集合写真も撮影されました。

活動を長年続けてこられた団体の皆さんの晴れやかな表情からは、これからも変わらず地域遺産を守り伝えていく熱い想いが伝わってくるようでした。

選定証授与式から数か月たちましたが、各地では、北海道遺産選定を記念したフォーラムやパネル展示などのイベント開催、選定された遺産がテーマとなった新聞記事等の掲載、遺産をモチーフにしたＰＲ物の制作や発売などの活動が盛んに行なわれている様子をお知らせいただいています。

ぜひ、これからも、新 15 件の遺産をはじめとした、67 件になった北海道遺産の応援をどうぞよろしくお願い致します。





■北海道遺産第３回選定 15 件■

- 利尻島の漁業遺産群と生活文化
- 旭川家具
- 三浦綾子記念文学館と外国樹種見本林
- 増毛山道と濃昼（ごきびる）山道
- 北海道の集治監（樺戸、空知、釧路、網走、十勝）
- 小樽の鉄道遺産
- 大友亀太郎の事績と大友堀遺構
- パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）
- 札幌軟石
- 蝦夷三官寺（有珠善光寺、様似等澍院、厚岸国泰寺）
- しかべ間歇泉
- むかわ町穂別の古生物化石群
- 北海道の簡易軌道
- 千島桜
- 松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡

※15 件の遺産の概要は別紙をご覧ください！

報告２　平成30年度北海道遺産交流会議「北海道遺産サミット」を開催しました

第３回選定 選定証授与式と併せまして、平成 30 年度北海道遺産交流会議「北海道遺産サミット」を開催しました。サミットでは、ほっかいどう遺産ＷＡＯＮ、伊藤園「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン寄附金による助成活動団体、３団体の皆様に活動報告をいただきました。

ほっかいどう遺産ＷＡＯＮの助成活動団体、EzoCup2018 実行委員会からは、７月に開催されたチェーンソーアート大会「EzoCup2018」の様子や、昨年度より原木を準備して北海道命名150 年に向けて今年度制作された、松浦武四郎木彫像の制作風景などをご報告いただきました。武四郎像は交流会議の行われた日から、12 月末まで北海道庁１階ロビーに展示され、一般市民に松浦武四郎と天塩川について知っていただく機会となりました。

NPO 法人ピアソン会からは、ピアソン記念館に新しく設置する展示や継続して発刊しているピアソンブックレットの制作に関連して、調査を進められている様子や制作物の進捗状況についてご報告をいただきました。

伊藤園「お茶で北海道を美しく。」キャンペーンの助成活動報告では、NPO 法人 ダウン・ザ・テッシから、今年スペシャル大会として開催されたカヌーツーリング大会「ダウン・ザ・テッシ－オ－ペッ」について、天塩川とその流域の魅力を伝える活動と、大会を通じた環境保全活動などについてご報告をいただきました。







報告３　ヘリテージウィークを開催しました！

今年度のヘリテージウィークは、開拓使時代の洋風建築のひとつである旧永山邸の敷地内に建つ、旧三菱鉱業寮と、地下歩行空間の２か所で開催いたしました。

旧三菱鉱業寮では、10 月 24 日～ 28 日まで、地域資源の保全・活用に携わる団体のみなさまによるパネル展示を行い、最終日の 28 日には公開講座、体験ワークショップ、物販を実施、多くのお客様に楽しんでいただける賑わい溢れるイベントとなりました。地下歩行空間では 12 月１日～２日に第３回選定 15 件のパネル展示とフォトコンテスト 2018 の入選作品を展示し、通行する多くの人々に北海道遺産を紹介する機会となりました。





▲旧三菱鉱業寮でのイベント実施の様子



▲地下歩行空間での展示の様子

報告４ フォトコンテスト 2018 入選作品

今年も多くの作品をご応募いただいた「北海道遺産フォトコンテスト 2018」。

グランプリ１点、準グランプリ２点、入選作品 20 点が選ばれました。地下歩行空間のヘリテージウィークで展示させていただいたほか、今年は、ソニーストア札幌で、審査員の写真家・岸本日出雄氏による講評会が開催され多くの皆様に美しい写真作品となった北海道遺産を観ていただくことができました。

素晴らしい作品の数々をご応募いただいた皆様ありがとうございました。



◇グランプリ 「予感」



◇準グランプリ 「流れ行く時と星」



◇準グランプリ 「摩周湖」

◇入選作品



「キンタン・カムイ・トー」



「え？！ここ北海道？！」



「此処から始まる物語ー日本のビール発祥の地」



「野鳥達の舞台」



「ピアソン記念館の朝」



「神威岬の夕景」



「雪と星」



「原色コントラスト」



「メルヘンチックなホースショー」



「朝日に輝く神威岩とうに漁」



「大荒れの小樽港」



「炭鉱遺産」



「北の馬力」



「冬の五稜郭」



「Strong rock」



「レンガの魅力」



「新冠の朝」



「天の川へ続く橋」



「神威岬と神威岩」



「赤絨毯を照らす」

報告５ ―― 第４回北海道ヘリテージトークラウンジを実施しました

北海道ヘリテージトークラウンジは、私たちのふるさと「北海道」をもっとよくするアイディアを探求したい人が、飲み物を片手にラウンジで話すように気軽に集い語る場です。

第４回（３月８日）は、ウェブシステム構築・アプリ開発の仕事をする傍ら、札幌国際芸術祭テクニカルスタッフとして活動する船戸大輔氏に、科学技術でできる地域の魅力の発信についてお聞きました。小型カメラとGPSを付けた小さな気球を成層圏まで飛ばし、落下してきたカメラの映像を収集したり、趣味の釣りで水中映像を撮って公開したりしている船戸さんですが、それらの活動も、気球を飛ばせる開けた場所がたくさんあったり、美しい海や川があるという北海道ならではの魅力が活かされていると感じるそうです。“自身の持つ技術で北海道の魅力を発信している”という意味への結びつきに気づき、活動拠点としての北海道の魅力を益々感じているそう。海外旅行で体験したことを北海道に置き換えて考えることで次の活動のヒントになることもあるとか。多様な人と活動を共にする船戸さんですが、分野が適度に近く、ほどよく狭いコミュニティで動くことで、新しいことを取り入れるときの障壁を少なくし、楽しみながらプロの集まりならではの取組ができると感じているそうです。参加者が船戸さんに質問をしながらの緩やかなクロストークで、個々の活動で、楽しみながら北海道の魅力発信につながることについて考える機会となりました。



お知らせ ―― 北海道ヘリテージラボがスタートします！

北海道各地で北海道遺産をはじめとする地域資源を活用したまちづくり活動に取組んでいる人々の、研究・意見交換の場として活用していただく取組として、今年度から「北海道ヘリテージラボ」をスタートします。３月28日は、飛騨古川で地域資源を活かした古い町並みや里山をめぐるツアーなどのツーリズム事業を手掛け、総務省地域力創造アドバイザーなども務めている、株式会社美ら地球の山田拓さんをゲストにお迎えして、クールな田舎の作り方のヒントをお聴きするとともに、参加者の皆さんとの意見交換で具体的な地域の取組について考えていきたいと思います。

皆様ぜひご参加ください！

■北海道ヘリテージラボ
「クールな田舎の作り方～地域資源を活かしたまちづくりの What から How へ～」
日　時：　2019年3月28日（木）18:30～20:30　（終了後に懇親会を予定）
場　所：　かでる２・７　510会議室（札幌市中央区北２条西７丁目）
定　員：　50名（申込要・先着順）
参加費：　500円
申　込：　氏名、ご所属、連絡先、懇親会へのご出欠を記載の上、
下記までメールにてお申込ください。申込締切３月25日
北海道遺産協議会事務局　e-mail：info@hokkaidoisan.org



NPO法人 北海道遺産協議会
〒060－0041　北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１ 第３６桂和ビル７階
（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
TEL：011－218－2858　FAX：011－232－4918　E-mail：info@hokkaidoisan.org